

1-3		主題	環境作りから始まった園芸療法の効果	
認知症ケア		副題	～利用者の笑顔を引き出す空間の演出～	
生活環境				
研究期間	12ヶ月	事業所	社会福祉法人 泉陽会 上荻ふれあいの家	
発表者：瀬川 照英			アドバイザー：	
共同研究者：井上 徹、羽賀 紀子				
電話	03-3301-2256	メール	senyokai-kamiogi@cap.ocn.ne.jp	
FAX	03-3301-2298	URL	www.timelyhit.ne.jp/senyokai/	

今回発表の事業所やサービスの紹介	社会福祉法人泉陽会が運営する上荻ふれあいの家は、閑静な住宅街に位置する高齢者福祉施設です。平成18年4月に開設し、デイサービスセンター(通所介護30名、認知症対応型通所介護10名)、居宅介護支援事業所を併設。その他、区の委託事業である配食サービスを提供しています。当施設では認知症対応型通所介護を「やすらぎ会」と呼んでいます。
------------------	---

《研究前の状況と課題》 研究前のやすらぎ会では、認知症高齢者の認知機能や理解力・判断力の低下等に着目し易く、個々の利用者の有する能力(残存機能)が見過ごされがちであった。 また、認知症ケアについても、利用者の認知症の進行に伴う身体機能の低下や重度化により施設内での生活が中心になりがちで、自然とのふれあいが減少していた。また職員体制にも限りがあり、大勢での外出が難しい状況であった。 このような状況下で、利用者の有する能力の維持や精神活動に直結したプログラムの充実化を図る為には、利用者の生活環境面への配慮が重要と考え、プログラムの見直しから、定期的な外出機会の確保、生活環境面の整備を実践した。	《研究の目標と期待する成果》 認知症高齢者が慣れ親しんだ自宅を離れて、デイサービスに通うとき、想像以上の不安や混乱が生じる為、利用者に対する環境面の配慮が重要となる。やすらぎ会では、前述した課題等から利用者が落ち着ける環境作りを利用者と共に取り組んだ。 研究目標としては、利用者に合った環境面の充実や認知症進行予防に効果的なアクティビティを実践することにより、認知症の予防や周辺症状の緩和に繋げる。また、やすらぎ会が利用者の生活の一部になって頂けるよう家庭的な雰囲気作りを目指した。 期待する成果としては、個々の利用者の有する能力を引き出し、やすらぎ会での役割をもって頂く。また、活動を通じて利用者同士のかかわりを深め、利用者間のストレスの軽減を図る等である。
--	--

《具体的な取り組みの内容》

認知症対応型通所介護フロアーは施設の2階にあり、やすらぎの間と呼ばれている。生活環境の整備はやすらぎの間から部屋に設置されたベランダにまで至り、その後は利用者を対象とする園芸療法にまで発展した。

- やすらぎの間にある家具の配置替えや季節装飾により、寛げる環境作りを演出した。季節装飾は日々の学習療法(塗り絵等)と併せ、毎日実施した。
- 殺風景であったベランダを寛げる空間に演出する為、ベンチシートの購入や園芸作業用のテーブル等を設置し、利用者が定期的に外気浴できるよう工夫した。
- 園芸療法を開始するに当たり、年間の花や野菜スケジュールを設定し、季節に合わせた花や野菜等を栽培した。ベランダの限られたスペースでの活動となる為、スペースを考慮した園芸用品や野菜苗等を選定して購入した。
- 活動を通して、利用者の「できること」を発見し、「できないこと」をフォローすることで利用者の遣り甲斐を引き出す取り組みを実践した。
- N式老年者用精神状態尺度(NMスケール)を用いて、利用者の活動意欲や表情の変化等を検証した。

《取り組みの結果と評価》

環境改善に向けた様々な取り組みの中で、以下のような変化が見られた。

- 生活環境面の変化に伴い、利用者自身も落ち着いて過ごす機会が増えた。一部の利用者には生活の中での一空間として認識され、来所してからベランダの様子を気にされる等、興味の対象としても定着した。
- 園芸療法を開始して一カ月後から利用者の活動意欲や表情の変化等を検証した。NMスケールでは精神活動の向上に結びつく結果となった。利用者の活動への意欲は軽度から中等度の認知症高齢者に高く、実際に毎日の水遣りや土弄り等の作業は参加者が限定された。
- 園芸療法による認知症進行予防の効果は明確化するに至らなかったが、個々の利用者の表情に笑顔が多く見受けられるようになり精神活動の活性化に繋がった。

《まとめ》

認知症高齢者は、認知症に伴う生活障害や機能障害等により生活意欲が減退する傾向にあるが、今回の研究では環境の整備や工夫によって利用者の意欲や能力を引き出せることが確認された。引き続き活動を通じて、利用者が安心できる環境作りを今後は家族を交えながら進めて行きたい。

《提案と発信》

【メモ欄】